

常任委員会

報告

よりよきまちづくりのため、各委員会では、閉会中も先進地の視察研修をしています。

建設経済常任委員会

視察日：平成19年5月17日、18日
視察先：山形県川西町、寒河江市
目的：品目横断的経営安定対策、道の駅視察

川西町は、販売農家数の減少とともに、農業就業者の高齢化が進んでおり、桜川市同様深刻な担い手不足や耕作放棄地の増加が懸念され、共通の悩みを持っているようでした。そんな中で安定的な営農システムの確立に取り組み、平均耕作面積2.7ヘクタールの状況の中で、認定農業者数380人、法人組織5地区を立ち上げ、担い手の確保、支援のための国の補助金制度を



有効に活用しています。また、ほ場整備作業が早くから行われていますが、経営面積が5ヘクタールを超えると所得率が減少するため、組織経営体や集落営農組織ができていく環境があるということです。次に視察した「道の駅寒河江」は平成4年「チェリーランド」の名称で、国道沿いに約1キロにわたって配置されており、事業費は53億円。国道を利用して適正な交流施設を配置することは地域にとって有効です。当委員会においても（仮称）岩瀬IC開設に伴う周辺整備を視野に入れ、充実した施設づくりを望みます。

（仮称）岩瀬IC開設で充実した施設づくりを

次に視察した「道の駅寒河江」は平成4年「チェリーランド」の名称で、国道沿いに約1キロにわたって配置されており、事業費は53億円。国道を利用して適正な交流施設を配置することは地域にとって有効です。当委員会においても（仮称）岩瀬IC開設に伴う周辺整備を視野に入れ、充実した施設づくりを望みます。

総務常任委員会

視察日：平成19年5月22日、23日
視察先：新潟県小千谷市、長岡市、新発田市
目的：災害時の初期対応と消防救急活動

小千谷市における新潟中越地震災害対策本部は、午後5時56分の地震発生後44分後に設置。午後9時には全職員444人中163人が参集したとのこと。初期初動の対応として「情報収集と伝達・避難所の設置・要援護者の対応」をしました。



また、対策本部設置後、直ちに自衛隊に出動要請を行い、午後10時50分からさまざまな救援活動が実施され、保健医療は、日

「自助・共助・公助」の体制づくりを

赤等の医療チームが救護医療に当たりました。新発田市は、2市1町で広域の消防本部を設置しており、今年11月に市内の救急病院に救急救命センターの設置が予定され、現在研修医との訓練を行っています。桜川市においては、これらの教訓を検証した結果、必要な対応を事前に整理し「自助・共助・公助」の役割分担による体制づくりが必要であり、救急出動内容に応じた一部自己負担の導入の検討や大規模な救急救命病院の設置が課題であると考えられます。今後は、これらの課題を市や関係機関に働きかけていきたいと思います。

歴史を生かした町づくりに努力を

旧佐原市（現在 香取市）の保存地区は、江戸時代から商業都市として発達し、香取街道として面影を残しているところで、復元する町並みとしては昭和初期当時を想定しているそうです。

平成3年「佐原の町並みを考える会」が発足し、本格的に町並み保存運動が開始されました。土蔵を改造し、お店として利用している方が多く、蔵の活用が印象に残りました。

次に視察した川越市は、蔵が通りに面して並んでおり、屋根の箱棟・鬼瓦が大きいのが特徴です。当日は、大勢の観光客が歩いており、町が活気にあふれた様子がうかがえました。

文教常任委員会

視察日：平成19年5月22日、23日
視察先：千葉県香取市、埼玉県川越市
目的：重要伝統的建造物群保存地区について

また、地区外にある歴史的建造物を「都市景観重要建築物」として指定し、補助金を出して保存しているとのことでした。

本市においても、伝統的建造物群保存条例・保存計画における地区・助成基準など、まちづくりに対する住民の理解を得るとともに、高率の住民同意を得よう行政として十分な努力を払い、歴史を生かしたまちづくりに努めていくことを要望します。



シルバー大学で、はつらつ健康づくり

真岡市地域活動支援センター事業は、障害者自立支援法に基づく市町村の必須事業であり、比較的重い障害者が現在11名通所しております。作業所は、同じ敷地内にあった空き民家を借り上げ改築し、地域活動支援センターとして開設、就労の機会を提供するとともに、生産活動の機会を通じて知識能力のための必要な訓練や地域住民との交流会等を実施して地域での生活支援も図っているとのことでした。

次に視察した栃木県シルバー大学校北校は、高齢社会を豊かに過ごすための知識と教養を学び、地域社会の活性化を促す人材を養成する目的で設立され、入学者は60歳から80歳前半の方で、その6割

福祉環境常任委員会

視察日：平成19年5月29日、30日
視察先：栃木県真岡市、矢板市、福島県二本松市
目的：福祉関係を研修

の方が県外から移住されてきた方です。

また、二本松市二本松地域子育て支援センターは、育児セミナー等の事業を実施しており、内科・小児科の医師がボランティアで講師を務め、大変感謝されているとのことでした。最後に、安達地域支援センターの新しい構造の園舎も視察しました。



全21議案を審議しました

質問者本人が要約しています

構成は臨時号に載っています

閉会中も審議しました

議案審議

一般質問

委員会報告

閉会中の審議